平成17 年12 月 28 日

各　　位

会　社　名　株式会社 宮
代 表 者 名　代表取締役社長 宮田永善
（JASDAQ・ コード番号 9901）
問い合わせ先　専務取締役 近能欣充
T　E　L　028－634－3815

平成18年2月期（連結・単独）業績予想の修正について

平成17年10月28日付当社「中間決算短信（連結）」及び同日付当社「個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました平成18年2月期通期（平成17年3月1日～平成18年2月28日）の業績予想（連結・単独）を下記のとおり修正いたします。

記

１．平成18年2月期業績予想の修正（平成17年3月1日～平成18年2月28日）

（1）連結の業績予想数値の修正　（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成17年10月28日）発表	２１，１００	４３０	１８０
今回修正予想（B）	２０，５５０	△５１０	△９９０
増減額（B－A）	△５５０	△９４０	△１，１７０
増減率	△２．６％	－	－
前期実績（平成17年2月期）修正	２１，９１２	１２０	△２３９

（2）単独の業績予想数値の修正　（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成17年10月28日）発表	２１，０００	４１０	１６０
今回修正予想（B）	２０，３００	△４８０	△８８０
増減額（B－A）	△７００	△８９０	△１，０４０
増減率	△３．３％	－	－
前期実績（平成17年2月期）修正	２１，４３４	１２２	△１３６

２．修正の理由

当社は、去る平成 17 年 11 月 30 日付け「半期報告書の提出遅延とその理由について」で公表いたしましたとおり、当社 100%子会社の建設取引を仮装したもの、「割引優待券」を利用したもの、広告宣伝費の取引業者への付回し、固定資産・リース資産の架空計上等、過去複数年度にわたり不適切な会計処理が行われてきたことが判明したため、当中間決算短信（連結）の修正を行うことといたしました。

この結果平成１７年１０月２８日付けの、通期の業績予想を大幅に下回ることとなりました。この原因としては、既存店の売上の減少、上記の不適切な会計処理を今期修正したことによる経費増、不振店の業態変更に伴う特別損失の増加などがあげられます。

なお、平成 17 年 11 月 30 日に「半期報告書の提出遅延とその理由について」を公表した後、過年度財務諸表の適正性を図るために、過年度の各期において関連する修正を反映したため、過去 5 期分（平成 13 年 2 月期から平成 17 年 2 月期）の有価証券報告書及び過去３期分（平成 15 年 2 月期から平成 17 年 2 月期）の半期報告書の訂正を行うことといたしました。

なお、この度の不適切な会計処理の判明により、当社としては抜本的に社内体制を見直し、組織的な近代経営への脱皮、経営の透明性の確保、本業であるレストラン事業への特化、不採算店舗の早期売却、遊休資産及び非事業用資産の早期売却を行う予定です。

以　上